

## 集団指導 1 級検定における「特記すべき事例」について

公益社団法人全国学習塾協会

過年度の実技試験における試験要項やガイドライン等に明記されている規定にやや逸脱していた事例とそのアドバイスは、以下の通りです。ご参考になさってください。

### ① 模擬授業映像データの撮影条件および提出媒体に関するガイドライン関連

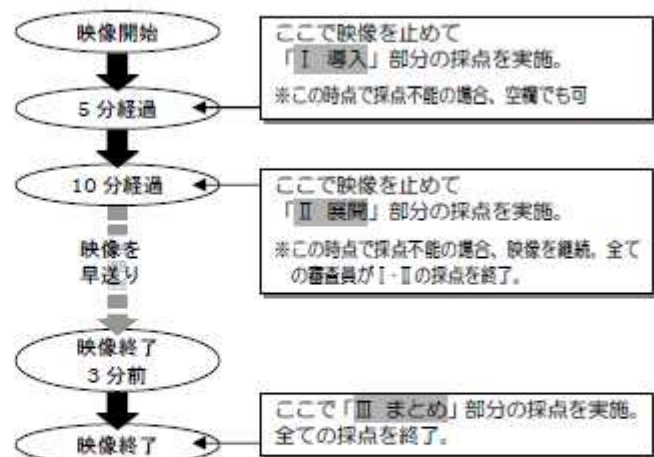
- ・「編集および撮影の中断は不可とする」とありますが、編集をしている撮影がありました。
- ・「撮影画面の横幅は黒板・ホワイトボード等の説明補助機材より若干広く映るように、縦幅は講師の腰より上が映るようにカメラをセットすること」とあるが、講師や板書が映像からはみ出しているものがありました。
- ・「三脚等を用い、カメラを固定した状態で撮影すること」とありますが、カメラを動かして撮影しているものがありました。
- ・「撮影時間は15～30分以内とすること」とあるが、短すぎたり長すぎたりしたものがありました。
- ・「ファイナライズを行い、他のDVDプレーヤーでも再生できることを必ず確認すること」とあるが、未ファイナライズやタイトル未記入のため再生できないものがありました。

ガイドラインやマニュアルをよく読んで、計画を立て、実行したら、映像を見て自己評価を行い、見直すべき点がないかを確認する(場合によっては撮り直す)ことをお勧めします。

### ② 審査手順など集団指導1級評価マニュアル関連

・下記のような審査手順により、最初が《導入》5分、《展開》がその後の5分、終わりの3分が《まとめ》であることを明示しているが、時間配分が適切でないため映像が採点に反映されないケースがありま

- － 「Ⅰ 導入」部分の採点は、模擬授業映像データ開始から5分経過時点で映像を止めて採点を行う。この時点で採点(判断)が不可能である場合はこの限りではない。全ての審査員が当該部分の採点を終えたら、模擬授業映像データの映像を再開する。
- － 「Ⅱ 展開」部分の採点は、模擬授業映像データ開始から10分経過時点で再度映像を止めて採点を行う。この時点で採点(判断)が不可能である場合は採点が可能となる時点まで映像をそのまま継続する。全ての審査員が当該部分(「Ⅰ 導入」部分も含め)の採点を終えたら、模擬授業終了3分前の時点まで映像を早送りする。
- － 「Ⅲ まとめ」部分の採点は、模擬授業映像データ終了3分前から終了時点までの映像を再生して採点を行う。



した。

・「導入」の考え方については、本検定においては「当該単元について、生徒の興味を持たせる工夫をしているか」を審査し評価します。生徒に興味を持たせるためにいわゆる《つかみ》や《まくら》であっても構いませんが、それが当該単元について、生徒の興味を持たせる工夫になっていなければ、点数が入りませんので、注意して下さい。

**たとえば「導入」の好事例としては、『本日の授業内容(単元・テーマ)に具体的なつながりがある。』**  
**ということです。日常生活の話題や前回の授業内容を取り上げても構いませんが、そのことが本日の**  
**授業内容に対して有効であるか、さらに言えば生徒に対して具体的・俯瞰的なイメージを与えられる**  
**かということになります。**

・「まとめ」の場面で、「まとめ」の終わりを「これで説明部分を終わります。では、演習を解いていきましょう。」等とする方がいらっしゃいます。「まとめ」の終わり方は自由ですが、「本日の授業は何をしたのかの説明」、「当該単元と他の単元との関わりの説明」、「当該単元について、生徒の復習や次の予習を促す工夫」、「生徒の理解度をなんらかの方法で最終確認」、「授業の要点などの再度説明」は必要です。これらがなければ点数が入りませんので注意して下さい。

**たとえば「まとめ」の好事例としては、『生徒とのコミュニケーションの中でまとめができています。』ことや**  
**『生徒が自宅へ帰ったあとのモチベーション維持に有効なまとめになっている。』『いま講師がまとめている場面であることを明示している。』**などということです。

### ③その他

・授業中の目線が偏る方がおりました。

**生徒の机にしるしを置くなどして意識的に行動できる工夫など一考の余地があります。**

・板書の際に長い沈黙があったり、生徒に背を向けたままの方がおりました。コンピテンシーディクショナリにおける板書のもつ意味を熟考してください。

・あらかじめ板書すべきことを紙に書いて貼ってある等している方がおりました。本検定の場合は、「板書による説明」も評価項目になっていることから、板書の仕方や流れも評価しますので注意して下さい。